

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う
神は、人生の終わりに、この道を歩んだ一人ひとりをご自身の「宝」として、神の御国に
迎えてくださる 詩篇119：7、エペソ人6：5「**真心**から」、マタイ13：44-46

神の贖いの人間史

最初の人類（アダムとエバ）、神の御命令への反逆で神から離れる
全人類、全地、創造時の神との正しい関係を喪失

→ 3

正確な人間史

神、全被造物の救い、一贖い^{あがな}のための方法、手段を選びの民に、世代から世代へと告知
天地創造前からの神のご計画は「御子^{みこ}による全人類の救い」
使徒の働き17：24-31、2：23-24、3：18、エペソ人1：9-10

ご自身を顕される神 詩篇19篇 1. 1-6節 2. 7-14節

1. 神は創造の初め、人類救済のご計画の“デザイン”を全宇宙、被造物に刻まれた

2. 聖書

歴史書：

神が記された全人間史 一創造の初めから終わりまでを網羅^{もうら}一

預言書：

近未来預言：イスラエル史、人間史においてすでに成就^{じょうじゅ}（実現）

神の預言の信憑性^{しんぴやうせい}を実証

遠未来預言：未来の成就是百パーセントの確率

預言：独占的に、唯一真^{まこと}の神ヤーウエの領域 イザヤ書41：21-24、44：7ほか

神の靈感によって書かれた「神の言葉」：

永久^{とこしえ}、普遍的に教え、戒め、矯正、訓練に用いられる

テモテ第二3：16-17、ペテロ第二1：21、詩篇119篇、マタイ24：35、イザヤ40：8

神の啓示告知のアプローチ：

神のご計画、御旨は何世紀にも亘って、選びの民、神の人に徐々に顕された ヘブル人1：1

モーセ五書“トーラー” —モーセによって書かれたヘブル語（旧約）聖書最初の五書—

創世記

書名が示すように、「起源」の書

神の天地創造、人間の墮落、最初のメシヤ預言、ノアの洪水、

地上の諸民族の起源、

選びの民イスラエルと神の契約関係

出エジプト記

エジプトでの隷属下から救出され、神との契約関係に入ったイスラエルの民の

荒野で過ごした一年余に亘る生活の記録の書

モーセを通して働かれた神

奇蹟：歴史にご介入される（た）神の証し、神の足跡

民、紅海（「エドムの地の葦の海」、アカバ湾 列王記第一9：26）を渡り、ミデヤンの地へ

出エジプトの出来事の一ヶ月半後、「アラビヤにあるシナイ山」（ガラテヤ人4：25）で

律法授与（「十戒」をはじめ、諸々^{もろもろ}の掟）

聖書

レビ記

ヘブル人（イスラエル）に与えられた「祭司の掟」、「祭司制度」の書

「いけにえのためのささげ物」による定期的な罪の贖^{あがな}いの必要性、「主の例祭」を詳述

⇒「旧約のいけにえ制度」が予兆、予期したのは最初で最後の「完璧ないけにえ」

イエス・キリストによる贖いの死、永遠の救いの必要

民数記

神の民イスラエルの三十八年に亘る荒野での神への反逆、不満、不信仰の放浪生活の記録の書

他方で、民との契約に忠実な神の愛と義なる裁きを記録

申命記

信仰と従順を奨励し、神の民としての生き方を指し示した「第二の律法の書」

神が約束された地「カナン」入植を目前に、モーセがイスラエルの民に語った最後の説教
シナイ山を離れた後、荒野を放浪せざるを得なかった不忠実、反逆の民に、背信の過去を思い起こさせ、再度、神への忠誠を誓うことによって、契約更新へと導いた出来事を記録

創世記5章

最初の人「アダム」に続くヘブル人の名にはそれぞれ意味がある

- | | | | |
|-----|-----|-------|-----------------|
| 1. | 3節 | アダム | 人 |
| 2. | 6節 | セツ | 定められた |
| 3. | 9節 | エノシュ | 死すべき、惨めな |
| 4. | 12節 | ケナン | 悲しみ |
| 5. | 15節 | マハラエル | 祝福の神 |
| 6. | 18節 | エレデ | 降りてくる |
| 7. | 21節 | エノク | 教える |
| 8. | 25節 | メトシェラ | 彼の死はもたらす |
| 9. | 28節 | レメク | 絶望的な |
| 10. | 29節 | ノア | 解放をもたらす → 休息、慰め |

全人類の最初の父祖十人の名に託された預言：

人は定められた。死すべき、悲しみに。

しかし、祝福の神は、降りて来られ、教えてくださる。

ご自身の死がもたらすことを。絶望的な（者）に、休息を。

⇒このメシヤ預言は人為的な細工ではなく、神に起因する預言

アダム：神によって直接創造された「人」、全人類の父祖

エノク：アダムから七代目のエノク、記録されている最初の預言者

—メシヤ来臨、再臨— を預言 ユダ14-15節

メトシェラを生んだ後、「神とともに歩んだ」 創世記5：22、：24

「息子メトシェラが生きているかぎり、洪水はとどめられる」という

「世界的大洪水」の預言を神から受けたに違いない

「神が彼を取られたので」、死を経験しないで地上から消えたエノク、

天界、神の御許で生きている 創世記5：24

メトシェラ：預言者エノクの長子の名には預言が託された

「彼の死はもたらす」

死んだ年、全地を洪水が襲った

人類史上、最高齢の長寿を全うした

聖書

メトシェラが187歳のとき
 ラメクが生まれ、ラメクが182歳のとき
 ノアが生まれ、ノアが（ ）歳のとき大洪水が起こった
 その年、メトシェラは969歳の長寿を全うして死んだ

大洪水 創世記7：11

この系図から得るメッセージ：

- ⇒メトシェラの人生、来るべき「神の裁き」に先んじた憐れみの期間、
 —最大限に引き伸ばされた憐れみ— を象徴
- ⇒エノクの人生、この世で「神とともに歩む」、—唯一真の神の存在を信じ、
 死に至るまで神の御旨を行う人生を送る、信仰を全うする— 者は、
 神の御許で永久に生きることを象徴

聖書の驚くべき「背理」

地上で最高齢を全うした息子メトシェラ、父エノクより先に死んだ！

新約時代、キリストは言われた：

「わたしを遣わした方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者を、
 わたしがひとりも失うことなく、ひとりひとり終わりの日によみがえらせることです。
 事実、わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです…」
 (ヨハネ6：39-40、下線付加) と。

ノアの洪水：予告なしに地を襲ったのではなかった
 四世代に亘って、予告された

洪水直前の出来事 創世記7：1-16

1. 信じる者に対する完全な守り：
 新約の時代、信徒に対する救いの保証「聖霊による証印」 エペソ人1：13-14
2. 神の憐れみ：
 最後の瞬間まで開かれている戸
3. 必ず来る神の裁き：
 神の憐れみの終わるときが来る マタイ25：1-13
 ご自身、人々を招き入れる「門」である神、戸を閉じられる ヨハネ10：9
4. 神の御旨は全人類に対する救いへの招き：
 「入りなさい」 (7：1) イザヤ書55：1、マタイ11：28、黙示録22：17

洪水の終わり 創世記8：4

「箱舟は、第七の月の十七日に、アララテの山の上にとどまった」 (下線付加)

⇒洪水後の新天地、新しい時代の始まり

聖書

ユダヤ（ヘブル）暦の月	旧暦〔民事暦〕 創世記の時代、旧暦だけ使用	新暦〔宗教暦〕 出エジプトの出来事以降導入
ティシュリの月	第一月（新年）	第七月
マルヘシュバン	第二	第八
キスレウ	第三	第九
テベテ	第四	第十
シェバテ	第五	第十一
アダル	第六	第十二
ニサン（アビブ）	第七	第一 出エジプト記12：2
イヤル	第八	第二
シバン	第九	第三
タンムズ	第十	第四
アヴ	第十一	第五
エルル	第十二	第六

旧暦の「第七の月の十七日」 → ユダヤ暦名では「ニサンの月の十七日」
新暦の「第一の月の十七日」に該当

→ 9 同目的に用いられる年月日

ユダヤ暦の「ニサンの月の十七日」

ヘブル人の「主の例祭」の春の三つの祭り レビ記23：5－14
ニサンの月の第十四日 過越の祭り
第十五日 種を入れないパンの祭り #
安息日の翌日 初穂の祭り

七日間続く「種を入れない祭り」の初日は安息日で、「大いなる日」と呼ばれた
レビ記23：7、ヨハネ19：31

イエス・キリストの受難週[†]の足跡

ニサンの月の十四日 過越の祭り
+3 三日三晩、墓の中 マタイ12：40
十七日 初穂としての甦り コリント人第一15：20－23

† キリストの受難週：

「大いなる日の安息日」、「週ごとの安息日」を経て、「週の初めの日」の早朝、
キリストは甦られた ヨハネ20章ほか、全共観福音書
⇒ 神の新創造の時代の始まり

神のデザイン

→ 1 デザインの一貫性

聖書の冒頭の書に、神は「人間を罪から贖うご計画」を織り込まれ、
そのデザインは、聖書の最後の書まで見事に「統合一貫」
⇒ 「最初から最後まですべてを知っておられる方」を証し
イザヤ書41：4、46：10、黙示録22：13ほか

聖書の起源

聖書は、四次元を超えた外の次元からの書、起源はこの世の外、神ご自身に由来